

精神障害者地域生活支援
とうきょう会議
運営委員会 議案

期日：2014年4月14日（月）

時間：19:00～22:00

場所：すぎなみ151

司会：鈴木卓郎 記録：新堀裕樹

参加者：理事4名中3名、監事2名中1名、運営委員11名中6名、
センター部会1名、事務局5名中5名、会員 名 計16名

理事（出席者は氏名の前に○）							
○	鈴木 卓郎	○	金川 洋輔	○	近藤 淳		半田 佳子
監事							
	小見山 政男	○	佐藤 あゆみ				
運営委員							
○	東 貴宏	○	今村 まゆら		小宮山 郁夫	○	斎藤 隆彦
	佐藤 有紗		佐野 澄子	○	瀬川 聖美		田中 直樹
○	西根 博貴	○	蓮沼 和音		樋口 勝		
支援センター部会からの参加							
		○	坂田 晴弘				
事務局							
○	丹菊 敏貴	○	亀山 元	○	新堀 裕樹	○	三村 豊
○	大倉 由利江						
会員の参加							

1. 項目：平成26年度の広報部会について

担当：事務局 丹菊敏貴

【要旨】

広報部会の小宮山さんより4月14日に電話連絡があり、広報部会は部会員内では活動停止の方向でおおかたの合意が得られているが、部会長の鈴木邦彦さんとの連絡が取れていないのと、部会員が集まって話ができている状況にあるとの報告があり、運営委員会に伝達を依頼されました。

広報部会内での最終結論がいつ出されるのかお聞きしたところ、議案書と合わせて今週中には結論を出したいとの見通しを示されました。

上記の状況から、広報部会への対応をどうするか、運営委員会でご検討ください。

【検討の概要】

昨年も事務局の一機能として集約してはどうかという話があり、広報部会としては独立した組織として続けていきたいという話だったが、現在、広報部会としての活動はできていない。運営委員会の方からの要望にも答えられていない。実質活動できていないので、継続は不可能なのではとの意見が出された。

【結論】

- ・事務局の方にニューズレターの機能を移していく。広報部会は、廃止の方向。
- ・事務局内で、今の人員でニューズレターの発行が可能かどうか検討し、次回運営委員会にて返答。

2. 項目：2014 年度定時社員総会準備

担当： 事務局 丹菊敏貴

【要旨】

(1) 議案書原稿

本日時点での議案書原稿の提出状況は別紙分担表の通りです。

2014 年 4 月 11 日の事務局会で、原稿の編集分担を決めましたので、各原稿の事務局担当者も併せて別紙分担表に掲載いたしました。

【結論】

ほぼ全ての部会が提出済。広報部会も、提出の目途は立っている。

(2) 貸借勘定の整理

① 「未払金」広報部会への配分金 2012 年度分及び 2013 年度分

広報部会への配分金は、2011 年度分までが本部会計から支出されていますが、2012 年度分及び 2013 年度分の 2 年度分が未払金となっています。これは、広報部会から配分金の引渡方法の指定がなかったため、そのままになっています。

2012 年度の広報部会の決算報告では、2012 年度配分金を受け取った形で収支決算報告が行われているので、部会員が費用の立て替えをしたままになっていると推測されます。

誰が幾ら立て替えているのかが不明なため、小宮山さんには 2012 年度と 2013 年度の広報部会の経理書類を提出するよう依頼してあります。

内訳：

2012 年度分	100,000 円
2013 年度分	30,000 円
合計	130,000 円

【結論】

未払いの部分は取り消して、必要経費のみ支払いを行う。

② 「未払費用」ホームページ管理費 2012 年度分及び 2013 年度分

これらも、事務局側で振込先の確認手続きをできていなかったため、未払金となっています。

内訳：

2012 年度分	60,000 円
2013 年度分	60,000 円
合計	120,000 円

【結論】

ホームページの管理に対する人件費として、月 5,000 円支払いを行う。

③ 「未払費用」名簿管理費 2009 年度分及び 2010 年度分

これらについては、会報発行業務委託先に支払っていたものですが、予算計上されていたものが未処理となっていたものです。今期の決算でどのように取り扱うか検討が必要です。

内訳：

2009年度分	180,000円
2010年度分	180,000円
合計	360,000円

【結論】

予算化をしていたが、未実施につき誤計上とし、今回の決算で修正益として処理する事となった。

④ 「預り金」2008年度都精作連 179,900円

これは、上記③と関係があります。

都精作連合流と合わせてとうきょう会議が引き継いだもので、本来「名簿管理費 2008年度分」の「未払費用」として計上されるべきものであることが分かりました。本来は 180,000円なのですが、その前に委託先への支払で過払い 100円が生じていたため、相殺して 179,900円となっているものです。

【結論】

③と同様の扱いとすることとなった。

⑤ 「未払費用」東社協会費 2009年度分

貸借勘定に、東社協会費 2009年度分 20,000円が計上されたままになっていますが、これは、2009年度分の支払を 2010年 6月 21日に行っていたものが、出納簿に未計上になっていたため残っていたことが分かりました。

今期で、費用計上し未払費用を消し込むことで対応いたします。

【検討の概要】

帳簿と現金が合っていなかった事を見過ごしていた。実際は支払いを行っていたが、払っていないことになっていた。

【結論】

今回の決算において、修正益として処理する事となった。

⑥ 「仮払金」2010年度未精算 20,000円

これは、戸島さんへの事務局経費として佐藤あゆみさん管理の小口現金から仮払金として 2010年 7月 24日に支出されたものですが、その後領収証が上がってきてこなかったため、そのまま仮払金として残っているものです。

【結論】

今回の決算で、事務局経費として計上し、仮払金を消し込むことで対応する事となった。

⑦ 「仮払金」スポーツ企画部 350,000円

2012年度にスポーツ企画部に、一旦配分金として予算同額 800,000円を支払ったが、本部会計の状況から、決算上 450,000円を配分金として計上しています。

その差額 350,000円は、本部に現金が戻ってきていないため、スポーツ企画部会内では、350,000円が「仮受金」として現金残高に残っているべきもので、本部会計では「仮払金」として残っているものです。

【結論】

2013年に支払っているものとして処理する。小柳さんに確認をする。

⑧ 「未払費用」事務局費

支払手続き未処理のため未払費用として残っています。

内訳

2011年度	297,153円
2012年度	418,437円
2013年度	370,000円
合計	1,085,590円

【結論】

昨年までの分は未払い金として計上する。

(3)-1 作業日程

議案書原稿の提出状況から、作業日程を補正しますのでご確認ください。

- 2014年3月5日(水) 議案書原稿作成依頼
(※原稿分担表を添付し、運営委員会 ML にて配信)
- 2014年3月19日(水) 運営委員会
理事会↓
(※2年度以上会費未納の会員の会員資格喪失の承認手続きについて理事会で検討済)
- 2014年4月11日(金) 議案書原稿提出期限
2年度以上会費未納の会員の会員資格喪失対象会員への通知発送済
- 2014年4月14日(月) 運営委員会(本日) 未提出原稿がある場合は、運営委員会 ML にて催促
(担当:新堀)

=== 議案書編集作業 ===

※事務局員が分担して統一書式で編集

- 2014年4月23日(水) 事務局原稿編集締切
- 2014年4月23日~24日 完成原稿を運営委員会 ML に流し、最終確認を依頼する
- 2014年4月28日(月) 議案書等一式印刷・製本・封入・発送依頼
(※依頼先は事務局員が所属する事業所にお問い合わせの予定です。)
- 2014年5月9日(金) 総会開催通知等発送期限
- 2014年5月16日(金) 定款で定める総会開催通知発送期限
- 2014年5月23日(金) 出欠確認・委任状の提出期限
- 2014年5月26日(月) 以降、出欠確認・委任状の未提出会員に提出の促し
- 2014年5月30日(金) 出欠・委任状数の集計と、受付簿の出力
- 2014年5月31日(土) 社員総会当日

【結論】

- ・印刷、発送は、事務局の事業所内で行う。請求書は事業所の方から出す。
- ・発送前に総会企画のチラシを用意する。
- ・総会企画の打ち合わせを行う為、総会のチラシを早めに用意する。

(3)-2 総会当日の時間割

- 10:00 運営委員・事務局員集合
準備
- 10:30 受付開始
- 11:00 総会開会
- 12:00 総会閉会

昼休み（1時間）

13:00 総会企画研修第1部開始（90分講演 15分質疑応答）

「改正精神保健福祉法の概要について」

精神保健福祉士協会 常務理事 大塚淳子さんに依頼予定

14:45 総会企画研修第1部終了

休憩（15分）

15:00 総会企画研修第2部開始

シンポジウム「精神科病床転換型住居を含む厚生労働省指針について」

予定シンポジスト：伊澤雄一さん（あみ）、関口明彦さん（ライフサポート）、長谷川千種さん（鳥山病院）、鈴木卓郎（とうきょう会議）

17:30 総会企画研修第2部終了

後片付け

18:00 完全撤収

【結論】

- ・長谷川千種さんの都合がつかない為、代わりの人を探している。
- ・大塚さんの肩書を変える。
- ・各シンポジストの肩書を研修部会で確認する。
- ・入口に案内板、建物内にプロジェクターを用意する。

(3)-3 総会当日の事務局員の分担

①受付：亀山、新堀、大倉

②総会記録：メイン＝三村、サブ＝亀山（PC2台、ICレコーダー1台）

【結論】

上記の通り確認された。

(4) 各部会の収支決算・予算の議案書への掲載方法

従来の議案書では、各部会の収支決算・予算は、各部会の活動報告と活動計画にそれぞれ掲載していましたが、今回の議案書では、全て本体の決算・予算と一括して掲載してはどうかと考えていますので、ご検討ください。

【結論】

繰り越したお金は、そのまま持っていた方が良い。手数料がかかる為、振込みはしない方が良い。

- ・決算の書式について

繰越金は、「繰越金」として書く。予算額は、今年度出される繰越金額＋当年度部会配分金。

3. 項目：2014年度事務局員費

担当：事務局 丹菊敏貴

【要旨】

2014年3月19日の理事会で、事務局の重要性から、事務局員の作業費用を予算化してはどうかとの提案をいただきました。

2014年4月11日の事務局会でこの件につき検討した結果、有志の会として参加しているという事務局員の主旨から、作業費用を受け取ることに抵抗があるので、事務局機能の実動評価を今後受ける中で、再検討していただくことを提案することになりました。

2014年度の事務局員経費としては、事務局会開催時の交通費のみ予算化をお願いするところで

す。事務局会開催頻度は、月1回を予定いたします。

【検討の概要】

・活動としてはまだ整っていない。次年度の予算の際にもう一度検討を行う。2014年は交通費のみは計上するか？

・事務局の出納係には業務内容に対して支払いを行っていた。もし出す事になると、進藤さんとの兼ね合いもあるのでは？

・一般社団法人になった状態で、事務局が有志という体制もどうか？有志である事務局を担保するためにも必要か？

・東京都の事務の費用は1,440円。月に一回集まって19時半から23時頃まで集まっている。金額を決めて、その範囲の中でやっていった方が良いのでは？

【結論】

今年度は金額に見合う仕事の内容を整理して、それを等分するようしていく。一回5,000円＋交通費×事務局の人数分で計上。年間につき、一人60,000円＋交通費で予算を計上する。来年度、それが妥当かどうか再度検討する。

4. 項目：運営委員会メーリング・リスト

担当：事務局 丹菊敏貴

【要旨】

運営委員会メーリング・リストの参加者は別紙の通りとなっています。

整理の必要がないか念のためご確認ください。

【結論】

運営委員会MLから削除および追加の対象については、別途一覧上で確認された。

5. その他（各部会報告・連絡等）

◆相談支援従事者研修企画部会

◆東京都自立支援協議会

◆東部ブロック

◆スポーツ企画部会

5月29日フットサル大会にあたり、東京都への講演依頼を出す際に、とうきょう会議の役員名簿を提出する。

◆広報部会

◆研修部会

研修部会での検討の結果、今の人員や部会の体制では専門コース別研修の実施は厳しい。今現在行っている研修を実施していくのがいいのではという結論に至る。研修企画部会では、この件について検討していく。

◆調査部会

◆支援センター部会

◆都精民協担当

次回の都精民協

日時：2014年4月23日（水）18:15～

場所：東京都社会福祉協議会会議室

内容：平成 25 年度活動報告、平成 26 年度活動計画、学習会のテーマ、加盟団体の活動報告等

◆事務局

◆その他

- ・来年度の役員体制について

変更はないので、総会？ではそのまま出す。運営委員の名簿と事務局の体制を提示する。その際、一度 ML でリストを流して確認を行う。

- ・幹事、監査の報告書はスケジュールが厳しいので、載せない。
- ・部会が解散になった時、そこに所属していた委員はどうか？→検討？

次回の運営委員会 5月15日（木）19：00～ 場所：すぎなみ151

以上